

現状と課題

暮らしを支える快適なまちづくりには、地域の持つ特性や周辺環境を生かした都市基盤の整備が必要です。

しかしながら、急激な高齢化、市民ニーズの多様化、そして、特に財政状況の悪化により社会資本の整備が遅れ、市民の暮らしに影響が出ています。

限られた財源の中で、市民が快適に暮らせるように道路網や交通手段の確保を含めた交通網の整備充実を図らなければなりません。

また、安心・安全に暮らしていくには、防災・消防対策の充実も必要です。

そのためには、消防署との連携を更に強化し、防災体制を整備することや地域防災計画の周知徹底を図らなければなりません。

市民が、安心して安全に暮らせ、そして手軽に買物などができる利便性を確保し、『住んで良かった』と言われる環境を整えることが行政の役割です。

山武市の取り組み

人々が安心、安全、そして利便性を



千葉東金有料道路



山武地区を運行する巡回バス



整備された市道

Construction of Urban Infrastructure

While giving full consideration to local characteristics and the surrounding environment, we will promote the construction of such urban infrastructure as the road network, including the ensuring of means of transportation, and urban areas so that all citizens can genuinely feel comfort and convenience in their lives. In addition, in order to build an environment that makes people say they are “happy to live here,” we will make efforts to improve the city’s disaster-prevention setup by strengthening coordination with the fire department and spread awareness of the local disaster-prevention plan.



成田空港シャトルバス